

## 令和5年度 指定管理施設運営状況評価表

### 1. 施設の概要

施設の名称	むつ市ウェルネスパーク・むつ市総合アリーナ	
指定管理者	団体名	山内土木株式会社
	代表者	代表取締役 山内 将 邦
	所在地	むつ市大湊新町 37 番 12 号
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）	
指定管理業務の概要	1 施設の使用許可に関すること。 2 施設の利用料金徴収に関すること。 3 施設の維持、管理及び修繕に関すること。 4 施設の特性を活かした利用促進に関すること。 5 その他施設の設置目的を達成するために必要なこと。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。  
 ※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。  
 ※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。  
 (単位：千円)

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収 入 合 計 (A)	252,419	245,226	△7,193
うち利用料金額	31,327	30,146	△1,181
うち指定管理料	220,790	214,759	△6,031
支 出 合 計 (B)	252,419	242,454	△9,965
うち人件費	100,321	101,709	1,388
収支差 (A-B)	0	2,772	2,772
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	収入減の大きな要因は、電気代の高騰分に対する市の積算基準により、余剰が認められたことによる指定管理料の返還分でした。支出についても同様に電気代の余剰分です。		

### 3. 施設利用の状況

(単位：人)

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
	利用者数	むつ市ウェルネスパーク		
センターハウス		19,966	20,888	922
克雪ドーム		69,468	73,382	3,914
見学		0	257	257
会員		39,143	44,710	5,567
合計		128,577	139,237	10,660
むつ市総合アリーナ				
ボルダリング		5,187	5,740	553
ランニング		641	645	4
貸切利用		47,743	62,531	14,788
見学		0	703	703
合計		53,571	69,619	16,048

利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)

【利用者の声】

駐輪場(自転車)に屋根をつけてほしいです。もしくは東ゲート入り口付近に駐輪スペースを設けてほしいです。サドルがびちゃびちゃで自転車に乗るのがつらいです。

【対応】

いつも当施設をご利用いただき誠にありがとうございます。

屋根設置は現状としては金額面、設置スペース等を考えましても非常に難しいです。

また、東ゲート軒下への駐輪スペース設置につきましては、バイク等の駐車も増えてしまい通行の妨げ、緊急車両の妨げが懸念される為、こちらも現状設置は難しいと判断いたします。貴重なご意見ありがとうございます。

【利用者の声】

ダンベルの種類重量を増やしてほしい。

HEX ダンベル 15 キロから 40 キロくらいまでお願いします。

【対応】

いつも当施設をご利用いただき誠にありがとうございます。

設置スペースがなく、大型のダンベルを置くことが難しいのが現状です。

貴重なご意見ありがとうございます。

4. 自主事業の実施状況

(単位：人、千円)

事業名	利用者数	収入	支出
むつ市ウェルネスパーク・むつマエダアリーナ(むつ市総合アリーナ) 自主事業	47,794	26,231	23,629

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準

A(優良)：計画された業務水準を大きく超える独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B(適正)：計画された業務水準を概ね達成した。

C(要改善)：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	A	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	A	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	A	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	A	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B

(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	A	A
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	A	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	A	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	A	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	A	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	A	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

## 6. 指定管理者総合評価

④指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

(1) ①両施設の休館日が異なる為、各施設の状況や問い合わせを、いずれの日においても双方の施設で行う事が可能となりました。大会主催者との打ち合わせを適切に行うことにより大会当日の開館時間について柔軟に対応し利便性向上に努めました。

(1) ③接客に関しお褒めの言葉を頂くことも多くサービス向上に寄与したと考えております。

(2) ①LINEでのオンライン予約、3ヶ月先までの予約状況のWeb公開などのオンライン関係について強化し、そこからの新規利用者や各種団体との円滑な打ち合わせ等に対応できたと思います。

(2) ②Youtubeチャンネル、TikTokアカウントを継続的に運用し、SNSイベント等も開催し若い方を中心とした非常に多くの方に目にして頂く機会を設けられたと思います。

(3) ①維持管理職員のスキルアップを行う事で、今まで以上に自社で修繕を行える技術を習得し大幅な管理費の削減に努めました。

(3) ③年間資格取得数13件、全体研修各12回ずつ計24回を実施し資質、能力向上に努めました。

(4) ②修繕発生時には、市と連携し問題解決に向けて事象の共有や工事業者との連絡を迅速に取り施設維持に貢献できたと思います。

(4) ③法令違反は1件もございませんでした。

(5) ①3ヶ月先までの予約状況のWeb公開、ウェルネスパークに関しましては今までの予約方法を大きく変更し1ヶ月先までの予約ができるようにし、利用者の方々が平等に利用できるように努めました。

(5) ②③維持管理職員による毎事巡回点検、全部署による迅速な情報共有、毎月の全体研修会の実施、火災だけではなく地震を想定した避難訓練の実施をする事により危機意識を常に持ち、安心で安全な施設環境の提供ができたと考えております。

## 7. 市の所管課総合評価

㊤所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

- 電気料の高騰が続いている中で、こまめな消灯やスペースごとに空調コントロールを行うことで節減に励んだ点及び電力会社が実施する節電キャンペーン等に参加し積極的に節電対策に努めた点は大いに評価する。
- ここ数年、利用者数減少の原因となっていた新型コロナウイルス感染症が5類移行になったことで、ウェルネスパーク、総合アリーナともに利用者数が回復してきたことから、今後ますます利用者のニーズへ応えられる運営を期待する。
- 職員のスキルアップを行い自社で修繕対応できる技術の習得に励み施設の維持管理費の削減を心がけている点を評価するとともに、今後も積極的に資格取得や研修に取り組み職員の資質向上に努めていただきたい。